

一 次の文章を読み、問いに答えなさい。

なお問いは、問題用紙 No.3 にあります。

ラフレシアの花は、巨大で鮮やかな赤い色をしている。実際に、薄暗い熱帯雨林の中でその花が咲いていると、そこだけぼうっと明るいうような気がして遠くからでもわかるのである。その大きさ、色合い、質感といい、とても植物とは思えず、さらにはにおいとおまけまでついて存在感にあふれている。私ははじめてラフレシアの花を見たとき、その存在感に圧倒され、①しばし立ちすくんでしまったのを覚えている。

ラフレシアの花の形はかなり特殊なもので、やって来たハエは花の中で変わった行動をすることになる。ラフレシアは雌雄異株、つまり、②雄しべを持つ雄花と雌しべをもつ雌花とに分かれている。しかし、花の外観は雄花も雌花も区別がなく、花の中央部はドーム状の部屋になっていて、中心に円盤状の構造がある。円盤の表面には多数の突起があり、外から花を眺めたとき、それらがまるで雌しべのように見えるが、雌しべでなくただの突起である。そして雄しべや雌しべは、円盤の下面がえぐれ込んだ奥にある。そっと指先を入れて円盤の下面を触ると、堅い毛が生えているのが雄花、つるつとしてるのが雌花である。

ハエはにおいにひかれて雄花の円盤の下に入り込み、狭い通路を歩いて雄しべのところまでたどり着くと、粘着性の花粉が自然とハエの背中に付着するようになっていく。ハエは餌を探すがどこにもない。しかたなくあきらめて飛び去り、次に別のところで咲いている雌花まで飛んでいって、③A同じように円盤の下へもぐり込んでいく。B背中についていた花粉が今度は自動的に雌しべに付着するようになっていく。つまりハエは、自らの体に花粉をつけて、雄花から雌花へと花粉を運ぶ運搬屋として働くわけである。

植物と昆虫の関係には、ミツバチなどが花粉を食べ物として利用する代わりに、花から花へ花粉を運び植物の受粉に役立つ、C植物と昆虫のお互いが利益を得るという関係があるわけだが、ラフレシアとハエの場合はどうなのか。ハエにはとくに得るものはないように見える。ラフレシアが一方的に得をしているのだ。このような関係がほかにあるだろうか。Dサトイモやカンアオイの仲間には、ラフレシアと同様においを出してハエなどを引き寄せ受粉してもらうが、ハエには特別な報酬を与えないという、いわば騙しの関係のあることがわかっている。④植物もなかなかやるものだ。

④騙されたハエによって受粉が終わると、やがて雌花では果実が実り、微小な種子が無数にできる。ラフレシアは、ブドウ科ミツバカズラ属のつる植物を宿主とする寄生植物なので、新しい花が咲くためには、種子がミツバカズラのつるに入り込まなければならぬ。つるの中でやがて種子が発芽すると、成長してつるの樹皮をこぶすのように盛り上がらせる。さらに成長すると、樹皮のこぶが破れてラフレシアのつぼみが出てくる。

つぼみは最初、黒い苞で覆われたままだが、やがて大きく成長すると苞の間からオレンジ色がかかったピンク色の花びらが見えてくる。このころのつぼみは直径二〇センチメートル以上あり、まさにピンクのキャベツである。ここから来れば、あと一週間ほどで開花する。種子がつるにもたらされてから開花するまで、一年半あるいはもっと時間がかかるとされているが、開花するとたった三日で黒く変色し、やがてどこどこに溶けてしまふ。

こうしてみると、ラフレシアの生態はよくわかっていようと思われるかもしれないが、まだまだ謎が多い。たとえば、ハエによる受粉のからくりはわかったが、ひじょうに少ない開花個体をハエがうまく見つけて、受粉を成功させる機会は稀だと思われる。にもかかわらず、なぜ絶滅しないのだろうか。また、種子がミツバカズラのつるにまでどのように運ばれ、さらにつるの組織の中にもどのように入り込むのか。つまり⑤何者かが関わっているはずだが、わかっていない。

⑥ラフレシアのもう一つ不思議なことは、花の大きさである。世界一大きな花を咲かせるとされ、最も大きなものでは直径一メートルを超える。この巨大な花が、ミツバカズラのつるの上に⑦いきなり咲く。寄生植物であるラフレシアには葉がないのである。

植物はふつう自らの葉で光合成によって栄養をつくり出すのだが、葉のないラフレシアは、宿主であるミツバカズラのつるから、すべての栄養と水を得ている。普通に考えれば、寄生植物が生きていくためには、自身の体を小さくして維持にかかるコストをできる限り小さくするほうが効率がよい。にもかかわらず、ラフレシアは巨大な花を咲かせる。なぜこのような効率の悪い生き方をしているのか。普通であれば生き残ることさえ難しいと思うのだが、絶滅しないでちゃんと生きている。しかもただの一種だけが細々と生きているのではなく、ボルネオ島やスマトラ島を中心に一四種ほどが知られている。どのようにして多くの種が分化してきたのか、これも謎である。

熱帯雨林の中でラフレシアの花を眺めていると、寄生植物だとか、効率の悪い生き方だとか、種分化や繁殖生態の謎だとか⑧そんなことはどうでもいい、おれは大きな花を咲かせたいんだと主張しているようにさえ感じる。これがラフレシアの大きな魅力でもある。最近、子ども向けアニメの人気キャラクターのなかにラフレシアが登場している。そこではラフレシアは妖怪である。人を魅了してやまない妖怪ラフレシア。誰が考えたのか、いかにもふさわしい設定だと思う。

(中公新書『ふしぎの博物誌』所収
「熱帯雨林の妖怪ラフレシア」高橋晃)

二 次の文章を読み、問いに答えなさい。

なお問いは、問題用紙 No.4 にあります。

恥ずかしながら、私は小学三年生になるまで、本当の樅の木でできた大きなクリスマスツリーというのを見たことがなかった。普通その季節になれば、テレビで映し出される外国の素敵な樅の木を見たり、町で美しい飾りをツリーを目にできる。

でも私は、scareless、(全言)なので、両手で触らなければ、ツリーに限らずどんなものも「見た」と言えない。特に大きなクリスマスツリーとか山の景色など両手に取まらない大きなものは、なかなか自分の感覚として味わえない。唯一触つたところのある幼稚園や学校の小さなクリスマスツリーは、痛いだけどころとも素敵に思えなかった。

キリスト教の信仰をもたない家に生まれた私にとって、子供のころのクリスマスは、なんだかわからないけどお目出たいらしいのでケーキを食べまじょうといった程度のものであった。

ところが小学三年のとき、近所に引越してきた外国人の先生が、私に本当のクリスマス教を教えてくださいました。体格のよいドイツ人のおじさん先生だった。この年から、私は先生に英語を習いはじめた。だが先生は、英語よりもずっと大切なことを私にわからせようとして、ずいぶん知恵をこぼしてくださっていたと思う。

その一つが、クリスマスツリーだった。先生は、広い庭に **b** 樅の木や、壁いっぱいに張りめぐらしたバラの蔓に一つ一つ豆電球を結びつけ、そこにサンタさんやらケーキの形の発泡スチロールやらを毎日少しずつとりつけていった。高い建物がなかった当時、**①** 樅の木が夜に明るさを増していくようすが、我が家からも見えたそう。

ある日の授業のあと、先生は、私と、迎えにきた母を庭に引きとめた。「麻由子さん、もうすぐクリスマスですよ。先生の庭に何があるか知っていますか？」 **②** いま見せてあげます。」

① 言つたり私をそっと抱き上げ、大きな木の枝の中に座らせた。*サワラの垣根に似た青い匂いがして、涼やかな空気がフワリと体を包んだ。薪ストーブの燃える部屋で授業に集中して火照つた顔が、涼気の中で少しずつほぐれていく。

*Reach out with your right hand. (右手を伸ばして)らん

③ 腰を押さえている先生の手に力が入る。私は恐る恐る枝につかまっていた右手を放し、頭の上の方に伸ばしてみた。すると枝をはずすようにめくられた細い電気コードの随所に豆電球が下つていた。小さな球は、まるで燃えているかのように熱い。見たことはないが、蛍の光はこんな熱さをもつた色なのだろうか。どの電球も、まるでツルウメモドキに **②** 鈴なりにになった赤い実みたいにく豊かに輝いている。光は見えないが、その明るさが、涼気の中に熱を発する球から手に伝わってくるのだった。

そんなふうに準備を重ねて迎えたクリスマスイブ、私は先生の家で開かれたパーティーに参加した。

*Would you like some more pie? (もっと少しパイをA召し上がらぬ)

先生は、どの子にもこうして丁寧な言葉遣いで話した。普段は信心の話などしない先生が、パチパチと **c** 暖炉の火のそばで、クリスマス由来の子供たちに語つて聞かせる。

「クリスマスは、イエス・キリストの誕生日です。この方は、命をかけて人々を救おうとしました。この日のケーキや贈り物は、私たちが **B** いただくものではなく、キリストに捧げて感謝するものなんです。」

クリスマスといえばプレゼントをもらうものと決め込んでいた私は、ちよつぱり反省した。誰かにプレゼントを **x** あげると、たいいていおかえしがくる。

でもキリストという人は、おかえしを期待せずに私たちを救おうとしたらしい。何をどうしてくれたかはわからないが、そうだとしたらすごい。私など、おかえしなしのプレゼントを誰かにあげたことがあつただろうか。

しばらくして、先生は私の隣に腰を下ろし、静かに話し始めた。「麻由子さん、あなたがこのクラスに **④** いらつしやつたとき、私は言いましたね。見えないことは音だけで言葉を学べる才能です、と、マイナスをプラスに変えられるのはあなたです、You can change. と、そのこと、わかつてもらいましたか?」

それは、この先生に最初にお会いしたときに言われた言葉だった。近所の小学校からも私立の学校からも入学を拒まれ、習い事教室では「こいうお子さんはあずかれません」と拒絶される。目が見えないだけで、私はほかの子とちがひい社会から疎まれる存在なんだ、とずっと思つていた。

④ 先生はそんな私に、「見えないことは、あなた次第で才能に変えられる」とおつしやつたのだ。生まれて初めての言葉だった。そして先生は言葉の通り、授業の中で私の「才能(?)」を開花させようとして、ほかの生徒さんの前でどうしようと私の配慮を実行された。

「○○さん、麻由子さんにちやんと触つて下さい **あげ** て下さい。○○君、麻由子さんをしっかりとつれていってください。」

でも、けつして甘やかすことはない。「麻由子さん、それはちがいます。もう一度よく聞きまじょう」

間違えればきびしく注意され、ごまかしたりすると何度でも怒りを直させる。その姿勢は、**⑤** むしろほかの生徒さんに対してよりも徹底していた。クリスマスの夜、先生は私に、その最初の言葉を思い出させたのだった。

「あなたには、もっとたくさんのお話をすることがあります。努力すれば必ず道が開けます。英語はその入り口ですよ。」

先生が繰り返した、You can change. の言葉は、熱い豆電球に触れたときの感動とともに、**⑥** 改めて私に衝撃を与えた。このときから、私は本気で英語を勉強することになる。この先生からは発音と会話だけを教わつたために、中学に入つても文法や綴りが **③** さつぱりだったので、辞典をバラバラにして持ち歩いてAから順に単語をおぼえたり、原書やレコードの歌詞カードを翻訳して **④** べたしたのだが、フランス文学に出会い、結局予想とはまったくちがつた道に進んだのだった。

*サワラ——木の名前。ヒノキ科の針葉樹。

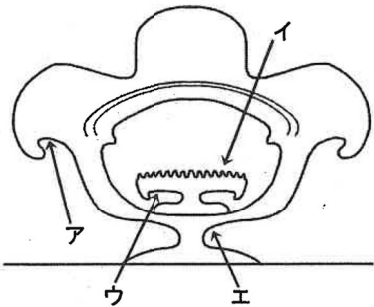
① 岩波ジュニア新書『わたしの先生』所収

② 「世界への扉——語学と仲良くなりたい人へ」三宮麻由子

問一 線部①「はし立ちすくんでしまったのはなぜか、答えなさい。

問二 線部②「雄しべを持つ雄花と雌しべを持つ雌花」とありますが、ラフレシアの花の雄しべと雌しべはどこにありますか。左の図の中のア～エから選び、記号で答えなさい。

ラフレシアの断面図



問三 A D に入れるのに最もふさわしい言葉を次のア～オから二つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア じつは
- イ やはり
- ウ むしろ
- エ すなわち
- オ すると

問四 線部③「植物もなかなかやるものだ」とありますが、ここにこめられた筆者の気持ちとして最もふさわしいものを次のア～エから二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 植物がしたたかな戦略を持っていることに感心する気持ち。
- イ 植物が自分の利益しか考えていないことを不快に思う気持ち。
- ウ 植物が害虫を退治してくれたことを小気味よく思う気持ち。
- エ 植物がけなげに生き延びようとする姿に心を打たれる気持ち。

問五 線部④「騙されたハエ」とありますが、ハエが「騙された」とはどういうことか、具体的に説明しなさい。

問六 線部⑤「何者かが関わっているはずだ」とありますが、筆者は「何者か」が何をしているはずだと考えているのか、「何者か」が「はずだ」に当てはまるように答えなさい。

問七 線部⑥「ラフレシアのもう一つ不思議なことは、花の大きさである」とありますが、なぜラフレシアの花の大きいと「不思議」なのか、その理由がわかる一文をぬき出し、はじめの五文字を答えなさい。

問八 線部⑦「いきなり咲く」とありますが、「ここでの」「いきなり」とはどういうことを表しているのか、最もふさわしいものを次のア～エから二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 受粉してから短期間で花が咲くということ。
- イ 他の植物のつるからじかに花が咲くということ。
- ウ 予想もしない時期に花が咲くということ。
- エ 周りに花がない中で一つだけ花が咲くということ。

問九 線部⑧「そんなことはどうでもいい、おれは大きな花を咲かせたいんだと主張しているようにさえ感じる」とありますが、筆者はラフレシアをどのような植物だと思っているのか、説明しなさい。

二・三の問いはこの裏にあります。

問一 a c に入れるのに最もふさわしいことばを次のア～エから二つずつ選び、それぞれ答えなさい。

- a ア からんだ
- イ はいた
- ウ はめこんだ
- エ まとった

- b ア きりたつ
- イ そびえる
- ウ はびこる
- エ はりだす

- c ア はせる
- イ はりまける
- ウ ひかる
- エ ほとぼしる

問二 線部①「樫の木が夜ごとに明るさを増していく」のはどうしてなのか、説明しなさい。

問三 線部②「いま見せてあげます」とありますが、この後で麻由子さんが「見せて」もらったものを次のア～オから二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 針葉樹のちくちくした葉
- イ 薪ストーブの燃える暖かさ
- ウ 青い匂いする大きな樫の木
- エ ツルウメモドキの赤い実
- オ 豊かに輝く豆電球の明るさ

問四 線部1「言うなり」・2「鈴なりに」・3「ぎっぴりだった」・4「はたした」を、わかりやすく言いかえて答えなさい。

問五 線部③「腰を押さえている先生の手に力が入る」のは何のためなのか、答えなさい。

問六 線部A「召し上がる」・B「いただく」・C「いらっしやう」を、敬語でない形に直して答えなさい。

問七 X「あげる」・Y「あげ」の使い方は異なります。それぞれの「あげる」と同じ使い方の「みる」を次のア～オから二つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア かえりみると長い人生だった。
- イ 遠くの美しい富士山をみる。
- ウ 苦手なことでもやってみる。
- エ 豆の木がみるみる成長する。
- オ 新しい方法をこころみる。

問八 線部④「先生はそんな私に、「見えないことは、あなた次第で才能に変えられる」とおっしゃったのだ」について、

- (1) 「見えないことは、あなた次第で才能に変えられる」を、「見えないことは、あなた次第で に変えられる」に言いかえたとき、 に最もふさわしい言葉を本文中から探し、三字で答えなさい。
- (2) この言葉を聞いたときの麻由子さんの気持ちを説明しなさい。

問九 線部⑤「むしろほかの生徒さんに対してよりも徹底していたのはなぜだと考えられるか、説明しなさい。

問十 線部⑥「改めて私に衝撃を与えた」とありますが、あなたがだれかの言葉によって今まで知らなかったことに気づき、自分の考えや行動を変えたような経験を一つ挙げ、それについて書きなさい。

三 次の問いに答えなさい。

問一 次の文中のカタカナを漢字に直して書きなさい。

- (1) 先見のメイがある。
- (2) たいこバンをおす。
- (3) ノウある鷹はつめをかくす。
- (4) トウカクをあらわす。
- (5) ウゴのたけのこ。

問二 ()内に示された意味になるように、に漢字一字を書き入れて、熟語を完成させなさい。

【例】 際 (つきあい) (答え: 交際) 際

- (1) 界 (さかいめ)
- (2) 解 (仲直り)
- (3) 消 (使って、なくすこと)
- (4) 意 (わざと何かをすること)
- (5) 三 (たびたび)